

令和7年度 機械系の実施状況

テーマ	多文化共修による地域社会での課題解決
実施期間	2025年8月19日（火）13時～20日（水）11時
実施場所	マルチメディアシステム棟 会議室
参加者数	本学教員 31人、高専教員 21人、その他 13人 計65人
目的	本学は、令和6年度「大学の国際化によるソーシャルインパクト創出支援事業」（事業構想名称「ものづくりと地域社会に変容をもたらすグローバル技学共修教育モデル構築とR&D人材育成」）に採択された。本学の強みである技学教育（実践的な技術者教育）を応用・発展させ、地域課題の解決を達成し得る人材を地域社会とともに育成する教育モデルを構築する構想であり、高専－技科大の連携教育に基づいている。本交流集会では、地方自治体との連携も含めた多文化共修により学生が地域課題に取り組むことで生まれる好循環、地域社会へのソーシャルインパクトに関して、情報交換を行う。
内容	<ol style="list-style-type: none"> 開会の辞（鎌土重晴／長岡技科大・学長） 「多文化間共修は難しい？学習者の視点から考える意義と学びを深める仕掛け作り」（堀江未来／立命館大学 グローバル教養学部） 「多文化共修によるものづくりと地域の活性化」（宮下幸雄／長岡技術科学大学 機械系） 「津山高専における共学共創の試み」（山田貴史／津山工業高等専門学校 機械システム系） 「地域と世界を舞台にした学生たちの学び合い：明石高専における国際共修の取り組み」（久保田育美／明石工業高等専門学校 教養学群） 「地域を学び舎とする次世代教育の推進」（外山茂浩／長岡工業高等専門学校 電子制御工学科） 開会の辞（高橋勉／長岡技科大 機械系長）